

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

既存資源（藤の花・冬桜）の魅力発信

自治体名

藤岡市

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1 セクター間の連携不足

藤の花・冬桜周辺の住民団体が行政・大学・企業とタッグを組むことで新たな魅力のあるコンテンツをつくるために、何が可能か？

2 若者へのアプローチ不足

藤岡市で育った若者が藤の花、冬桜などの観光資源に触れ、興味を持ってもらうことで、繰り返し訪れ、愛着を深め、情報発信をしてもらうために、何が可能か？

3 市外、県外の観光客へのPR不足

実際に旅行を考えている観光客が藤岡の魅力のあるイベント、コンテンツ、場所を知り、発信することで、多くの人に魅力が伝わり、さらに多くの人に来てくれるために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

my 冬桜	桜山公園または商店街で市・造園業者がふるさと納税の返礼品として冬桜の苗木をお渡しし、桜山公園にて植樹体験を行う。また植えた樹に名前をつけることもできる。	目指せ！ 日本一のイルミ	開花シーズンに桜山公園や藤の咲く丘で、市・商工団体・観光協会・事業者による日本一のライトアップ・イルミネーション・プロジェクションマッピングを行う。また消灯後に星空鑑賞や宿泊ができる。
藤の花、冬桜 ブランドの確立	通年で藤岡市、商工会、観光協会、事業者主催のもと藤岡市の大学生に参加してもらい藤の花、冬桜ブランドを考案し商品化に向け連携を高めていく。	市長の藤岡 発掘チャンネル！	藤の花と冬桜のシーズンに、公園や市内の観光地や食事処を舞台にして市長、副市長、はじめ市の幹部が YOUTUBE チャンネルを作り、動画配信（歌、ダンス、お店訪問）や応募者と藤岡ツアーを行う。